書式第１２号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

２０１９年度　　事　業　報　告　書

特定非営利活動法人ピープルデザイン研究所

１　事業の成果

２０１９年度は、引き続き東京都渋谷区と神奈川県川崎市を主な活動場所とし、年間を通じて様々なイベントやプロジェクトを企画・展開。ダイバーシティな街づくりの実現へむけて活動を行った。また省庁や他行政との取り組みや、講演会・セミナー・研修、国内外の中学・大学等での授業も展開した。

２　事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業　　（事業費の総費用【　28,300 】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費（千円）
身体上・情報上のバリアを解消するまちづくりのためのイベント企画・開催	＜就労体験プロジェクト＞渋谷区、川崎市内にて、精神・知的障害者の方々を中心に、ひきこもりの方やホームレスの方々に、スポーツや音楽などのエンターテイメントの領域での仕事を通じで、社会参画のきっかけの場を提供。 参加者には弊研究所から「交通費」として１人 2,000 円を拠出。平成 31 年度は渋谷区内・新宿区内・横浜市内でも企画を実施。川崎市においては年度内合計 52 企画を展開し、計 408 名の方々が”就労”を体験。うち 35 名が企業への正規就労を果たした。	通年	東京都渋谷区、新宿区、神奈川県川崎市、神奈川県横浜市	7 名	川崎市内の障害者、ひきこもり、ホームレスの方々	546 名	5633(千円)
身体上・情報上のバリアを解消するまちづくりのためのイベント企画・開催	＜奥原宿ストリートミュージアム＞2013 年から、神宮前二丁目にショーケース付きの街路灯を企画・設置。ショーケース内に展示する作品の、パネルの製作と、その入れ替え、ならびに清掃作業を、渋谷区内の福祉作業所に仕事として依頼。	通年	神宮前二丁目商和会（東京都渋谷区）	2 名	神宮前二丁目近隣の住民	不特定多数	0(千円)
身体上・情報上のバリアを解消するまちづくりのためのカウンセリング・講習会・セミナ 一等による人材育成	地方自治体・団体・企業での講演、中・高・大学での授業等に登壇。日本国内のみならず、海外（オランダ、オーストリア、カナダ、ニュージーランド等）からも招聘を受けた。	通年	国内外各地	2 名	各地域	3400 名	1680(千円)

身体上・情報上のバリアを解消するまちづくりに関する普及・啓蒙のためのメールマガジ ンの配信・ホームページ作成	公式ホームページ、FACEBOOK ページの更新、運営。	通年	CHARI 千駄ヶ谷(東京都渋谷区)	2 人	日本と一部国外	不特定多数	200(千円)
身体上・情報上のバリアを解消するまちづくりのためのイベント企画・開催	＜ピープルデザインストリート vol.9＞　渋谷区の神宮前二丁目商和会と共催で、商店街の道路を交通規制して、誰もが楽しめる様々なイベントを実施。	10 月 14 日	神宮前二丁目商和会（東京都渋谷区）	5 名	神宮前二丁目近隣住民	来場者 2,400 名	200(千円)
身体上・情報上のバリアを解消するまちづくりのためのイベント企画・開催	＜ピープルデザインシネマ 2020＞川崎市との共催で中学生・高校生、そのご家族の方々に向けた映画上映イベントを開催。LGBT(レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー)をはじめとするマイノリティの方々をより身近に感じ、親子やお友達同士でその理解を深め、お互いを尊重しあえる機会にすることが目的。映画「帰り道」を上映し、上映前後には、ゲストを迎えてのトークショーや､｢絵と言葉のライブラリー ミッカ｣による絵本の朗読会も同時に開催。	2020 年 1 月 23 日	チネチッタ　チネ 10（神奈川県川崎市）	3 名	神奈川県、東京都、千葉県の住民	200 名	720（千円）
身体上・情報上のバリアを解消するまちづくりのためのイベント企画・開催	＜短時間雇用プロジェクト＞法定雇用率の対象にならない「短時間の雇用・就労」の実現に向けた取組を東京大学先端科学技術研究センター（略称：東京大学先端研）川崎市は、と協同で開始。弊研究所では、参加企業の紹介、広報、普及啓発、運営アドバイスを担っている。	通年	神奈川県川崎市、東京都渋谷区	2 名	神奈川県川崎市、東京都渋谷区内の障害者	短時間雇用通年雇用 1 名、短日雇用述べ 14 名	1490（千円）
身体上・情報上のバリアを解消するまちづくりのためのイベント企画・開催	＜カワサキハロウィンパレード＞10 月末日に神奈川県川崎市にて行われた「カワサキハロウィンランウェイ」にて､ベビーバギーユーザー6 名､｢カワサキハロウィンパレード」にて、１万人のパレードに車椅子ユーザー 20 名と、ダウン症ダンスチーム 25 名の参加をコーディネートした。		神奈川県川崎市	3 名	関東近県の障害者	112 名(付き添い含む)	720（千円）

身体上・情報上のバリアを解消するまちづくりに関する調査研究	渋谷区を中心とした区内におけるベビーカーと車いすのアクセシビリティ調査を実施。9月の超福祉展にて発表。	9月		2名	渋谷区の住民ならびに、通勤・通学・来街者	不特定多数	0（千円）
身体上・情報上のバリアを解消するまちづくりのためのイベント企画・開催	＜2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展」（通称：超福祉展）＞障害者をはじめとするマイノリティや福祉そのものに対する「心のバリア」を取り除こうと、2014年より毎年11月（2019年度より9月に変更）に、渋谷区と超人スポーツ協会との共催で、渋谷ヒカリエを中心に開催している展示会。思わず「カッコいい」と使ってみたくなるデザイン、大きなイノベーションを期待させてくれる「ヤバイ」テクノロジーを備えた福祉機器を展示、体験できるほか、従来の福祉の枠に収まらない魅力的なプレゼンターたちが日替わりで登場するシンポジウムも開催。また渋谷の街中では、ファッションショップとのコラボレーションやモビリティツアーなどのイベントも実施。2020年、渋谷発の超福祉の日常をリアルに感じてもらえる展示会イベント。	9月3日～9日	渋谷ヒカリエ8F、01/court、02/CUBE 1,2,3、渋谷キャスト、（東京都渋谷区） ほか渋谷区内各所	8名	日本各地、海外	来場者 75,100人	17,244（千円）
身体上・情報上のバリアを解消するまちづくりのためのプロダクトの企画・生産・販売	＜コミュニケーションチャーム＞「困っている人をサポートします」という意思表示を示すファッションアクセサリー「コミュニケーションチャーム」の企画を担う。なお、このチャームの生産は地域の福祉作業所に依頼し、障害者の方々の仕事を創出し、工賃アップに協力している。	通年	CHARI千駄ヶ谷（東京都渋谷区）	1名	全国の住民	不特定多数	48（千円）
身体上・情報上のバリアを解消するまちづくりのためのカウンセリング・講習会・セミナ 一等による人材育成	港区内事業所の工賃アップを目指し、区の共同受注窓口の運営のサポート。	通年	東京都港区	1名	港区内の障害者		233（千円）
身体上・情報上のバリアを解消するまちづくりのためのカウンセリング・講習会・セミナ 一等による人材育成	神奈川県からの依頼による「共生社会フォーラム」の企画、運営。	9月-12月	神奈川県	3名	神奈川県内の住民、障害者		132（千円）